

## レディーミクストコンクリート配合報告書

殿

日本工業規格表示

珠洲市

配合計画者名

工事名称											
所在地											
納入予定時期		平成10年5月～10月									
本配合の適用期間		本工事終了迄									
コンクリートの打込み箇所		壁									
配合の設計条件											
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ	粗骨材の最大寸法による記号	セメントの種類による記号						
	普通	21	18	25	N						
(1) 指定事項	軽量コンクリートの単位容積質量	— kg/m <sup>3</sup>	空気量	— %							
	コンクリートの温度	— °C	混和材料の種類	—							
	呼び強度を保証する材齢	— 日	アルカリ骨材反応抑制方法(2)	A		—					
	水セメント比の上限値	— %	単位セメント量の下限值又は上限値	— kg/m <sup>3</sup>							
	単位水量の上限値	— kg/m <sup>3</sup>	コンクリートの塩化物含有量	0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下							
	流動化後のスランプ増大量	— cm									
使用材料(3)											
セメント	生産者名	電気化学工業株式会社			密度	3.16 g/cm <sup>3</sup>		Na <sub>2</sub> O <sub>eq</sub> % (4)	0.67		
細骨材	産地又は品名	黒部川 砂	ASR(5)による区分	A	化学法	粗粒率	2.70	比重	表乾	2.64	
		七尾産 山砂		A	化学法		2.70		表乾	2.52	
粗骨材	産地又は品名	黒部川 砂利	ASR(5)による区分	A	化学法	実積率	62.0	比重	表乾	2.70	
		—		—	—		—		—	—	
混和剤	製品名	ダーレックス WRDA	種類	AE減水剤(標準形I種)		細骨材の塩化物量	0.00 %				
混和材	製品名	—	種類	—		水の区分	地下水				
配合表 (kg/m <sup>3</sup> ) (6)											
セメント	水	細骨材			粗骨材			混和剤			混和材
		砂	山砂		砂利						
298	172	248	552	—	1015	—	—	1.192	—	—	—
水セメント比	57.7 %		細骨材率	45.5 %							
備考					骨材混合比(容積混合)	砂:山砂		30.0:70.0			

注(1)呼び方欄以外に特に指定された場合に記入する。

(2)附属書6表1に示す記号で記入する。ただし、附属書1の区分Aの骨材を用いる場合は、記号Aを同欄に記入する。

(3)配合設計に用いた材料について記入する。

(4)ポルトランドセメントを使用した場合にだけ記入する。

(5)アルカリシリカ反応(ASR)性による区分及び判定に用いた試験方法を記入する。

(6)人工軽量骨材の場合は絶対乾燥状態の質量で、その他の骨材の場合は表面乾燥飽水状態の質量で表す。